

ICT使用状況報告書

2023年3月10日

事業所種別	デイサービス	
導入する機器等	ワイズマネジメントSP・つくろくTablet・Mell+	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年 / 2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120/日 ② 3人/日 ③ 12日 〕 〔導入後：① 52/日 ② 1人/日 ③ 5日 〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名〇〇、導入前〇〇枚→導入後〇〇枚（1ヶ月平均〇割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	2022年 / 2月 20日	
事業完了日	2023年 2月 28日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

5年4月3日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	介護ソフトNDソフトウェア ほのぼのNEXT 2台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	4年 12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>【導入前：① 90 ② 6 ③ 30】 【導入後：① 40 ② 4 ③ 30】</p> <p>※・同利用者の記録の際、1人の職員の記入を待つ時間も無くなると同時に、システムに記録したことで他部署間への情報共有や迅速な伝達が可能となった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数） 「文書名「各計画書・ケース記録」導入前200枚→導入後98枚（1ヶ月平均5割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	4年 12月 6日	
事業完了日	5年 3月 15日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 2月 2日

事業所種別	その他（訪問看護ステーション）		
導入する機器等	電子カルテ ASPシステム、すごろくhome (Lenovo Yoga Tab 11 , Surface Pro 9)		
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※1	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無	
「L I F E」の利用申請の有無			<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている※2			<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年	1月
	リース・レンタル契約期間	年	月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 8時間② 12③ 20〕</p> <p>〔導入後：① 6時間② 3③ 15〕</p> <p>※記入例：紙媒体にボールペンで記録や請求計算していたが、紙がなくなりパソコンで電子化されたので、記録の時間が格段に減り、請求業務の作業人数も減りの効率が格段にあがった。</p> <p>毎月請求日には、残業していたスタッフが、残業時間数がほとんどなくなり、作業ミスも減ったためサービスの質も向上している。使用する紙の量が毎月、5千枚から2千枚に減り環境にも配慮できた</p>		
事業着手日	2023年 1月 1日		
事業完了日	2023年 2月 2日		

※1 導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

※2 申込みのあとに「自己宣言ID」が発行された時点で自己宣言が行われたとみなします。

自己宣言を申込みしたことが分かるように、申込み後に自動送信されるメールを添付してください。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	その他（ ）	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①50 ②6 ③20 〕</p> <p>〔導入後：①30 ②6 ③20 〕</p> <p>※利用者訪問の空き時間でタブレットで記録を記入することが出来るようになり、効率よく訪問することが可能となった。事業所へ帰って記録を記入する時間が減少し、残業時間が少なくなった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数を記載ください。）</p> <p>「文書名：アセスメント・モニタリング 導入前140枚→導入後20枚（1ヶ月平均8割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	その他（ ）	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①60 ②4 ③21 〕</p> <p>〔導入後：①30 ②4 ③21 〕</p> <p>※利用者訪問の空き時間でタブレットで記録を記入することが出来るようになり、効率よく訪問することが可能となった。事業所へ帰って記録を記入する時間が減少し、残業時間が少なくなった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数を記載ください。）</p> <p>「文書名:アセスメント・モニタリング 導入前100枚→導入後5枚（1ヶ月平均9割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	①・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	①・無
「L I F E」の利用申請の有無		①・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		①・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①30 ②4 ③27 〕</p> <p>〔導入後：①15 ②4 ③27 〕</p> <p>※日々の訪問記録からケース記録に転記をしていたが、タブレットやPCから直接入力することが出来るようになり、作業時間の短縮や紙の削減が出来た。残業時間の減少や効率的な提供を行えるようになった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数を記載ください。）</p> <p>「文書名訪問記録、導入前445枚→導入後10枚（1ヶ月平均9割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①30 ②4 ③27 〕</p> <p>〔導入後：①10 ②4 ③27 〕</p> <p>※バイタル測定等の健康チェックを一旦メモを取りPCへ転記していたが、タブレットから直接PCへ入力することが出来るようになり、作業時間の短縮や紙の削減が出来た。空いた時間に利用者に関りが持てるようになり処遇の改善や効率的な提供を行えるようになった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数を記載ください。）</p> <p>「文書名：ケース記録、導入前177枚→導入後59枚（1ヶ月平均7割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③有・無
「LIFE」の利用申請の有無		④有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①70 ②5 ③30 〕</p> <p>〔導入後：①50 ②3 ③30 〕</p> <p>※記録をメモからPCへ転記することなく、タブレットにて記録を直接入力することが可能となり、記録に掛ける時間が大幅に短縮された。その分処遇にかける時間が多くとれ、利用者へのサービスが向上していると思われます。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名 ケアチェック表、導入前30枚→導入後20枚（1ヶ月平均3割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年2月17日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	CAREKARTE	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③有・無
「LIFE」の利用申請の有無		④有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①70 ②5 ③30 〕</p> <p>〔導入後：①50 ②3 ③30 〕</p> <p>※記録をメモからPCへ転記することなく、タブレットにて記録を直接入力することが可能となり、記録に掛ける時間が大幅に短縮された。その分処遇にかかる時間が多くとれ、利用者へのサービスが向上していると思われます。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名 ケアチェック表、導入前30枚→導入後20枚（1ヶ月平均3割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年12月10日	
事業完了日	令和5年2月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月17日

事業所種別	認知症グループホーム	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーオーシャンノート 一式 ・Surface Pro 7+ 2台 ・Wi-Fiルーター 2台 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：①60分/日②4人/日③30日] [導入後：①50分/日②4人/日③30日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護記録ソフトの自動転記やデータ連携機能を活用し、各種記録や書類作成・印刷、請求等に係る業務時間が上記の通り削減された。 ・記録間の転記ミスや誤字脱字が削減された。 ・介護記録ソフトやタブレットPCを用いて事業所内の職員間の情報伝達を円滑に行えるようになった。 ・上記の業務効率化によって職員が直接ケアにあたる時間が増えた。 <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合 各種アセスメント結果やモニタリングに関する記録 導入前100枚→導入後50枚(1か月平均5割削減) サービス提供記録 導入前600枚→導入後300枚(1か月平均5割削減) 事故報告書・業務日報など 導入前100枚→導入後50枚(1か月平均5割削減)</p>	
事業着手日	令和5年12月1日	
事業完了日	令和5年3月17日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	その他（ ）	
導入する機器等	介護ソフト（カナミック居宅介護支援システム） タブレット端末 10.1型 Android JT10-X	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年 1 月
	リース・レンタル契約期間	令和4 年 12 月から 令和5 年 3 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120 ② 2 ③ 30 〕 〔導入後：① 60 ② 2 ③ 30 〕</p> <p>※電子化することにより各事業所へFAX送信の手間が省け、ペーパーレスになる。またタブレットを使用することにより待ち時間に記録や修正をすることができ時間短縮となる。更に請求業務の電子化となり、業務の効率化が期待できる。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名「FAX・記録」導入前100枚→導入後40枚（1ヶ月平均6割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	令和4年 11 月 29 日	
事業完了日	令和5 年 2月 27 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月 27日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）		
導入する機器等	カナミッククラウドサービス 10.1型Android JT10-X（タブレット端末）		
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	○有・無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	○適・否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	○有・無	
「LIFE」の利用申請の有無		○有・無	
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		○有・無	
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年	2月
	リース・レンタル契約期間	令和5年	1月から
		令和5年	3月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①120分 ②1人 ③3日 〕 〔導入後：①60分 ②1人 ③1日 〕</p> <p>※3月時点では請求業務の電子化までしか進まなかったが、4月以降記録の電子化を進める予定であり、業務の効率化がさらに望める。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 文書名「サービス日報」導入前42枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減）</p>		
事業着手日	令和4年	11月	29日
事業完了日	令和5年	2月	27日

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 4 月 10 日

事業所種別	その他（ ）	
導入する機器等	ケア樹	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※1	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている※2		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022 年12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 100② 3③ 30〕</p> <p>〔導入後：① 60② 3③ 30〕</p> <p>※記入例：記録を電子化する事によって、同様の記録を複数つけるといった手間が省け、効率が格段に上がった。</p> <p>早番・日勤・遅番・夜勤とどの時間帯においても残業時間数が削減できた。記録に取られる時間も減ったため、利用者様へのサービスも向上している。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数</p> <p>「文書名〇〇、導入前20枚→導入後5枚（1ヶ月平均2.5割削減）」</p>	
事業着手日	2022年12月10日	
事業完了日	2022年12月30日	

※1 導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

※2 申込みのあとに「自己宣言ID」が発行された時点で自己宣言が行われたとみなします。

ICT使用状況報告書

令和 5年 3月 31日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	【ソフトウェア】CAREKARTE 【タブレット端末】APPLE iPad 64GB：2台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 5年 2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 90② 5③ 26〕 〔導入後：① 60② 3③ 26〕</p> <p>※記録を電子化する事によって、同様の記録を複数つけるといった手間が省け、連絡帳等の作成も記録が自動転記されているので時間の短縮に繋がった。個人別ファイルへのサービス記録もタブレットによる入力で時間と労力が削減できた。記録に取られる時間も減ったため、利用者様へのサービスも向上している。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <p>「個別記録表：5枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減）」</p>	
事業着手日	令和 4年 12月 2日	
事業完了日	令和 5年 2月 28日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月16日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	ソフトウェア⇒記録システム「ケアパピルス」パッケージ ハードウェア⇒タブレット端末4台 (現在使用中の介護請求システムと合体させて運用する)	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務(事務所内外の情報連携を含む。)、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「在宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言(一つ星又は二つ星)をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年 1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果(導入による業務改善状況等)】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり)</p> <p>{ 導入前: ①100 ②3 ③ 22 } { 導入後: ①60 ②1 ③ 22 }</p> <p>ソフト導入により、日常記録の機械化を行う。バイタル入力や食事の記録入力等、紙だった際に複数の人の手が入っていた紙をソフトにまとめて記入したり申し送り機能を使い情報共有もできるようになることで効率化を図りその分、ケアに対応出来る時間数が増加した。また、業務日報も記録から内容を持って来る事により、二重記載不要及び機械化可能となった。</p> <p>【文章量削減】 「バイタル表、導入前22枚→導入後4枚(1ヶ月平均8割削減)」 「業務日報、導入前22枚→導入後0枚(1ヶ月平均10割削減)」</p>	
事業着手日	令和5年 1月 26日	
事業完了日	令和5年 3月 15日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年1月30日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	ワイズマン すぐろくケアマネ	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※1	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「LIFE」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている※2		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	令和4年12月から 令和9年1月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 3③ 30〕</p> <p>〔導入後：① 60② 2③ 30〕</p> <p>職員全員が危機を利用する事で業務の透明性や管理業務効率が高まる。記録に取られる時間も減ったため、利用者様へのサービスも向上している。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名：経過記録・モニタリング記録、導入前20枚→導入後5枚（1ヶ月平均2.5割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年 12月	23日
事業完了日	令和4年 12月	26日

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	10.2インチ iPad Wi-Fi 64GB・HP 250 G8/CT Notebook PC スタンドモデル・OL Care Palette多言語アプリ/OL ほのぼシリーズソフトウェア一式	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 5 年 2 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 5③ 30〕</p> <p>〔導入後：① 30② 15③ 30〕</p> <p>導入間もなく現在は一時的にデータ入力と紙媒体の二本立てで業務に当たっており負担増となっているが、定着化し移行が軌道に乗れば効率化図れ、ペーパーレス化も進む事が期待できる。【文章量削減】他施設の実績では</p> <p>バイタルチェック表 180枚/月 ⇒ 0枚・服薬管理表 30枚/月 ⇒ 0枚・業務日報 30枚/月 ⇒ 0枚・介護記録 425枚/月 ⇒ 0枚・食事チェック表、排泄チェック表、体位交換表、酸素チェック表、事故報告者、ヒヤリハット、眼薬チェック表、夜間指示書、受診報告書、夜間受診報告書、往診記録簿 計 1,158枚/月 削減済</p>	
事業着手日	令和 5年 1月 6日	
事業完了日	令和 5年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	10.2インチ iPad Wi-Fi 64GB・HP 250 G8/CT Notebook PC スタンドモデル・OL Care Palette多言語アプリ/OL ほのぼシリーズソフトウェア一式	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 5③ 30〕</p> <p>〔導入後：① 30② 15③ 30〕</p> <p>導入間もなく現在は一時的にデータ入力と紙媒体の二本立てで業務に当たっており負担増となっているが、定着化し移行が軌道に乗れば効率化図れ、ペーパーレス化も進む事が期待できる。【文章量削減】他施設の実績では</p> <p>バイタルチェック表 180枚/月 ⇒ 0枚・服薬管理表 30枚/月 ⇒ 0枚・業務日報 30枚/月 ⇒ 0枚・介護記録 425枚/月 ⇒ 0枚・食事チェック表、排泄チェック表、体位交換表、酸素チェック表、事故報告者、ヒヤリハット、眼薬チェック表、夜間指示書、受診報告書、夜間受診報告書、往診記録簿 計 1,158枚/月 削減済</p>	
事業着手日	令和5年1月6日	
事業完了日	令和5年3月31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	10.2インチ iPad Wi-Fi 64GB・HP 250 G8/CT Notebook PC スタンドモデル・OL Care Palette多言語アプリ/OL ほのぼシリーズソフトウェア一式	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 5 年 2 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 5③ 30〕 〔導入後：① 30② 15③ 30〕</p> <p>導入間もなく現在は一時的にデータ入力と紙媒体の二本立てで業務に当たっており負担増となっているが、定着化し移行が軌道に乗れば効率化図れ、ペーパーレス化も進む事が期待できる。 【文章量削減】他施設の実績では バイタルチェック表 180枚/月 ⇒ 0枚・服薬管理表 30枚/月 ⇒ 0枚・業務日報 30枚/月 ⇒ 0枚・介護記録 425枚/月 ⇒ 0枚・食事チェック表、排泄チェック表、体位交換表、酸素チェック表、事故報告者、ヒヤリハット、眼薬チェック表、夜間指示書、受診報告書、夜間受診報告書、往診記録簿 計 1,158枚/月 削減済</p>	
事業着手日	令和 5年 1月 6日	
事業完了日	令和 5年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	10.2インチ iPad Wi-Fi 64GB・HP 250 G8/CT Notebook PC スタンドモデル・OL Care Palette多言語アプリ/OL ほのぼシリーズソフトウェア一式	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
	「LIFE」の利用申請の有無	④・無
	SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている	⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 5③ 30〕 〔導入後：① 30② 15③ 30〕</p> <p>導入間もなく現在は一時的にデータ入力と紙媒体の二本立てで業務に当たっており負担増となっているが、定着化し移行が軌道に乗れば効率化図れ、ペーパーレス化も進む事が期待できる。 【文章量削減】他施設の実績では バイタルチェック表 180枚/月 ⇒ 0枚・服薬管理表 30枚/月 ⇒ 0枚・業務日報 30枚/月 ⇒ 0枚・介護記録 425枚/月 ⇒ 0枚・食事チェック表、排泄チェック表、体位交換表、酸素チェック表、事故報告者、ヒヤリハット、眼薬チェック表、夜間指示書、受診報告書、夜間受診報告書、往診記録簿 計 1,158枚/月 削減済</p>	
事業着手日	令和5年1月6日	
事業完了日	令和5年3月31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3 月 23日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	介護ソフト「ほのぼのNEXT」連携タブレット記録システム 「ケアパレット」	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年 1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：①60分 ②15人 ③ 31日] [導入後：①50分 ②15人 ③ 31日]</p> <p>①記録に関わる作業時間について</p> <p>水分、食事、バイタルなどの記録は、測定した時に随時入力していくため、それにかかる作業時間を1日トータルで計算するのは大変難しいところであるが、水分量や食事量などのデータのみの記録をつける職員とそれらの記録を元にして利用者の状況や介護計画などの文書を作成する職員では作業時間は大きく異なる。データの記録に関わる作業時間だけで見ると、まだ慣れていないせいもあって、紙ベースに手書きで記録していく方が早い場合もあるのが正直なところであるが、記録されたデータを元に介護計画を作成したり、病院の医師との情報交換、治療や投薬などの判断材料となる資料を作成する時に、最もデータ電子化の効果が発揮されているように思われる。</p>	

ICT使用状況報告書

令和5年 3月 18日

事業所種別	特別養護老人ホーム		
導入する機器等	ほのぼのNEXT、iPad4台、Wi-Fi設置工事		
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年	12月
	リース・レンタル契約期間	年	月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 60 ② 5 ③ 30 〕 〔導入後：① 30 ② 3 ③ 30 〕</p> <p>記録の電子化により、定型文活用や一括入力による記録の簡素化、転記作業が無くなったことで、時間短縮等の効率化につなげることが出来た。削減した時間を利用者様へのサービス向上に充てることが出来ている。また情報の共有や情報管理の面においても、よりスムーズかつ正確に行えるようになった。現在は紙と併用している部分もあるが、今後の電子化完全移行に向けて実践活用しながらトレーニングに取り組んでいる。</p> <p>【文章量削減】 ※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数） 「介護支援経過記録、看護記録、食事・水分チェック表 導入前140枚→導入後20枚（1ヶ月平均7割削減）」</p>		
事業着手日	令和4年	12月	6日
事業完了日	令和5年	3月	10日

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 5 年 3 月 17 日

事業所種別	認知症グループホーム	
導入する機器等	OLほのぼのクライアント使用権バック1台 onlineプラットフォーム使用権バック1台 OL NEXT CarePalette接続ライセンス使用権バック3台 onlineプラットフォーム使用権バック(CarePalette用)3台 10.2インチiPad WiFi64GB3台 WiFiルータ(バッファロー)1台、WiFiアクセスポイント(フルノシステムズ)2台 WiFi ACアダプタ(バッファロー)2台、スイッチングハブ(エレコム)1台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「LIFE」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	4 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前： 90① 3② 18③ 〕</p> <p>〔導入後： 45① 1.5② 18③ 〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>記録の電子化により、バイタル、食事、排泄記録の転記が省略され作業時間を圧縮することができた。このため、各勤務帯の残業時間削減、記録に費やしていた時間を利用者対応に充てることができ、サービス品質の向上に繋がった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>バイタル記録表、導入前30枚→導入後15枚(1カ月平均約5割削減)</p> <p>個人記録、導入前20枚→導入後10枚(1カ月平均約5割削減)</p> <p>日報、導入前30枚→導入後20枚(1カ月平均約6割削減)</p>	
事業着手日	令和 4 年 12 月 27 日	
事業完了日	令和 5 年 2 月 27 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

5年 4 月 1 日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）		
導入する機器等	アップル 10.2インチiPad Wi-Fi64GB シルバー 1台		
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無	
「L I F E」の利用申請の有無			有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている			有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	4年	12月
	リース・レンタル契約期間	年	月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 180 ② 4 ③ 26 〕 〔導入後：① 90 ② 2 ③ 26 〕</p> <p>※記録の電子化により、記録業務に掛かる時間が大幅に減り、ご利用者様と関わる時間を増やす事ができた。勤務日数の少ない職員にも情報共有が安定し、統一したケアが可能となった。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名【個人記録票、利用実績票】、導入前390枚→導入後145枚（1ヶ月平均6.3割削減）」</p>		
事業着手日	5年 1月 24日		
事業完了日	5年 2月 28日		

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

令和5年 2月 6日

事業所種別	その他 (訪問看護)	
導入する機器等	ソフトウェア (care palette ns) ハードウェア (ipad wi-fi 64GB 6台)	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務 (事務所内外の情報連携を含む。)、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※1	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言 (一つ星又は二つ星) をしている※2		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年 12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり)</p> <p>[導入前: ① 60 ② 7③ 30]</p> <p>[導入後: ① 45 ② 7③ 30]</p> <p>まだ導入直後であり記録時間の大幅な削減には至っていないものの、音声入力により記録時間の短縮効果の実感がある。また、夜間のコール記録や訪問記録がリアルタイムで共有でき、労務管理上の効果も感じている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合 (1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数)</p> <p>訪問看護記録用紙 導入前約100枚→導入後10枚 (1ヶ月平均 9割削減)</p> <p>訪問看護報告書 導入前約200枚→導入後100枚 (1ヶ月平均 5割削減)</p>	
事業着手日	令和4年 11月 29日	
事業完了日	令和5年 2月 1日	

※1 導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

※2 申込みのあとに「自己宣言ID」が発行された時点で自己宣言が行われたとみなします。

自己宣言を申込みしたことが分かるように、申込み後に自動送信されるメールを添付してください。

ICT使用状況報告書

令和5年3月6日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	介護請求記録システム ケア樹 Apple社製 iPad	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ <input type="radio"/> 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 記録・LIFE登録での1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日）③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①1②15③30〕 〔導入後：①15②15③30〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録ではiPadで記録を登録する事で一元管理する事が出来ている。また記録は連絡帳とも連動しているため転記等の負担が減った。 ・LIFEはシステムに登録する事で簡易にCSV出力出来、負担が減った。 ・提供票連動システム ケアぼすを利用する事で少しずつであるが紙での提供票のやりとりが少なくなってきた。 <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名 フォーカス、導入前10枚→導入後1枚（1ヶ月平均9割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	2022 年 12 月 10 日	
事業完了日	2023 年 3 月 1 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

令和5年3月6日

事業所種別	認知症グループホーム	
導入する機器等	介護請求記録システム ケア樹 Apple社製 iPad	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
	「L I F E」の利用申請の有無	有・無
	SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている	有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 記録・LIFE登録での1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日）③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①1②15③30〕 〔導入後：①15②15③30〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・記録ではiPadで記録を登録する事で一元管理する事が出来ている。また記録は連絡帳とも連動しているため転記等の負担が減った。 ・LIFEはシステムに登録する事で簡易にCSV出力出来、負担が減った。 ・提供票連動システム ケアぼすを利用する事で少しづつであるが紙での提供票のやりとりが少なくなってきた。</p> <p>【文章量削減】 ※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名 フォーカス、導入前10枚→導入後1枚（1ヶ月平均9割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	2022 年 12 月 10 日	
事業完了日	2023 年 3 月 1 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月6日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	介護請求記録システム ケア樹 Apple社製 iPad	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ <input type="radio"/> 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 記録・LIFE登録での1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日）③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①1②15③30〕 〔導入後：①15②15③30〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録ではiPadで記録を登録する事で一元管理する事が出来ている。また記録は連絡帳とも連動しているため転記等の負担が減った。 ・LIFEはシステムに登録する事で簡易にCSV出力出来、負担が減った。 ・提供票連動システム ケアぽすを利用する事で少しずつであるが紙での提供票のやりとりが少なくなってきた。 <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「文書名 フォーカス、導入前10枚→導入後1枚（1ヶ月平均9割削減）」を記載ください。</p>	
事業着手日	2022 年 12 月 10 日	
事業完了日	2023 年 3 月 1 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月17日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	【ソフトウェア】タブレット型介護記録入力システムHIMVIT 【ハードウェア】アンドロイドタブレット TA2C-M8 アンドロイドスマートフォン arrows BZ01	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年 2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり記録作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 30.2分/日 ② 22.2人/日 ③ 約20.5日 〕 〔導入後：① 16.9分/日 ② 22.2人/日 ③ 約20.5日 〕</p> <p>タブレットとスマホの活用により、記録のタイムリーな入力作業と合わせてこれまでの記録の入力時間短縮と効率化ができ、根拠を基にしたケアの実践につながっている。</p> <p>介護職員だけでなく、多職種とも情報伝達と情報共有を図ることでケアの統一につながっている。</p> <p>帳票削減によるペーパーレスと共に情報把握の迅速化と職員への情報発信による多職種連携とケアプラン内容の実施と適正なモニタリングを実践。</p> <p>【記録時間の短縮（月間）について】 導入前 約10.2時間 → 導入後 約5.7時間</p>	
事業着手日	令和5年 2月 8日	
事業完了日	令和5年 2月 28日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 2月10日

事業所種別	特別養護老人ホーム		
導入する機器等	富士通介護保険システムLifemark-WINCARE 1セット		
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無	
「L I F E」の利用申請の有無		有・無	
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無	
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4年 12月	
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで	
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 3③ 60〕</p> <p>〔導入後：① 60② 3③ 30〕</p> <p>記録を電子化する事によって、同様の記録を複数つけるといった手間が省け、国保連とのレセプト作成・請求に効率が上がった。</p>		
事業着手日	令和 4年 12月 9日		
事業完了日	令和 4年 12月 16日		

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月27日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	【ソフトウェア】ほのぼのNEXT	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 30② 7③ 30〕 〔導入後：① 30② 7③ 30〕</p> <p>現時点ではほのぼのを導入し時間が経っておらず操作に慣れていない事や、今まで一部記録の電子化を行っていた事から顕著な記録時間の短縮は見られない。しかし、今後は同様の記録を複数つけるといった手間が省け作業時間が減少する事が想定できる。 また、記録に取られる時間も減る為、利用者様へのサービスも向上繋がっていくと考える。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>一部電子化をしており、その際にカルテ・栄養ケア計画書 等が電子化できていない状況であった。 今回システム導入に当たり文章量の削減は見込まれないが現在電子化できていないものが電子化される事により、導入前50枚→導入後15枚程度（1か月平均7割削減）が見込まれる。</p>	
事業着手日	令和5年 1月 1日	
事業完了日	令和5年 3月 17日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月27日

事業所種別	老人短期入所施設	
導入する機器等	【ソフトウェア】ほのぼのNEXT	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 15② 5③ 30〕 〔導入後：① 15② 5③ 30〕</p> <p>現時点ではほのぼのを導入し時間が経っておらず操作に慣れていない事や、今まで一部記録の電子化を行っていた事から顕著な記録時間の短縮は見られない。しかし、今後は同様の記録を複数つけるといった手間が省け作業時間が減少する事が想定できる。 また、記録に取られる時間も減る為、利用者様へのサービスも向上繋がっていくと考える。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>一部電子化をしており、その際にカルテ・栄養ケア計画書 等が電子化できていない状況であった。 今回システム導入に当たり文章量の削減は見込まれないが現在電子化できていないものが電子化される事により、導入前30枚→導入後10枚程度（1か月平均約7割削減）が見込まれる。</p>	
事業着手日	令和5年 1月 1日	
事業完了日	令和5年 3月 17日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月27日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	【ソフトウェア】ほのぼのNEXT	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 90② 7③ 30〕 〔導入後：① 90② 7③ 30〕</p> <p>現時点ではほのぼのを導入し時間が経っておらず操作に慣れていない事や、今まで一部記録の電子化を行っていた事から顕著な記録時間の短縮は見られない。しかし、今後は同様の記録を複数つけるといった手間が省け作業時間が導入前90分→導入後60分程度（1日約3割削減）になる事が想定できる。</p> <p>また、記録に取られる時間も減る為、利用者様へのサービスも向上繋がっていくと考える。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>一部電子化をしており、その際にカルテ・リハビリ計画書・リハビリ報告書が電子化できていない状況であった。今回システム導入に当たり文章量の削減は見込まれないが、請求業務について実績からコスト計算が一元化されることにより導入前480分→導入後360分（1か月で約3割削減）が見込まれる。</p>	
事業着手日	令和5年 1月 1日	
事業完了日	令和5年 3月 17日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月 20日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）		
導入する機器等	「楽すけ」デイ&施設記録帳		
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	○有 ・ 無	
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	○適 ・ 否	
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	○有 ・ 無	
「LIFE」の利用申請の有無		○有 ・ 無	
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		○有 ・ 無	
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	5年	1月
	リース・レンタル契約期間	年	月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①60 ②5 ③24〕 〔導入後：①20 ②2 ③24〕</p> <p>・以前はパソコンのみでの作業だったが、タブレット端末でも作業することが可能となり時間の削減につながった。 ・機械が苦手な職員でも音声入力を活用して記録をとることができるようになった。 ・導入前はExcelで業務日誌や個人記録をとっていたため毎月の管理が必要だったが、導入後はクラウド上に情報が保存されているため書類整理の時間が削減された。</p>		
事業着手日	5年	1月	16日
事業完了日	5年	3月	15日

ICT使用状況報告書

令和 5年 3月 24日

事業所種別	その他（ 居宅介護支援事業所 ）	
導入する機器等	介護ソフト(すぐろくケアマネ 3ライセンス) タブレット端末等(アンドロイドタブレット TA2C-DR94G 3台) I I Jモバイルサービス/タイプD 回線 定額プランライト 初期費用 3式	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、 請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・ レンタルの別	購入時期	令和 5年 2月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による 効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日）②作業人数（人/日）③作業日数（ひと月あたり） [導入前：①83 ②4 ③30] [導入後：①50 ②4 ③30]</p> <p>訪問中や訪問の隙間時間に記録を入力、サービス利用票変更等まで行うことができ、事業所に帰所してから手書きメモを転記する時間を短縮することができた。転記ミス、記録漏れ防止にも繋がり、従業員の精神的な負担の軽減も図れている。また、タブレットが音声入力にも対応しているため、入力時間短縮、職員の負担軽減することができている。</p> <p>また、タブレットのカメラ機能を使用することで、看護サマリー・薬剤情報一覧・保険情報等の各種書類を撮影、記録することができるため、それらの書類をコピーに行く時間、手間を省略することができた。</p> <p>上記により短縮できた時間を職員間での情報共有、ケアプラン作成等の時間に費やすことで、より質の高いケアマネジメントを行うことができています。</p> <p>導入してまだ2ヵ月経っていないため、タブレットやすぐろくケアマネの操作に慣れておらず、まだ残業時間の短縮に関しては十分な効果が得られていない。最終的には残業時間約30%減を目指す。</p> <p>【文章量削減】 「アセスメントシート、導入前42枚→導入後21枚（1ヶ月平均5割削減）」</p>	
事業着手日	令和 4年 11月 29日	
事業完了日	令和 5年 2月 28日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

令和 5 年 1 月 2 0 日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	介護保険業務ソフト「ファーストケア」居宅介護支援版、居宅サービス提供版	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4 年 1 2 月
	リース・レンタル契約期間	令和 5 年 1 月から
		令和 7 年 1 2 月から
I C T導入による効果等	<p>【 I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日）</p> <p>③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 3 0 0 ② 3 ③ 2 0 〕</p> <p>〔導入後：① 1 2 0 ② 2 ③ 1 2 〕</p> <p>・情報管理及びシフト表作成（調整）、給与管理等が連携しているので作業効率が良く、管理業務が短縮できる。また、請求金額も連携しているため、時短に貢献している。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>ケアプランの連携、情報共有が出来るため紙の削減は出来ているが、ソフト利用者が高齢化しているため削減量に限界がある。</p> <p>「導入前 1 0 0 枚→導入後 6 0 枚（1ヶ月平均 4 割削減）」</p>	
事業着手日	2 0 2 2 年 6 月 2 2 日	
事業完了日	2 0 2 2 年 1 2 月 2 7 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

令和5年 1月 20日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	介護保険業務ソフト「ファーストケア」居宅介護支援版、居宅サービス提供版	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年 12月
	リース・レンタル契約期間	令和5年 1月から
		令和7年 12月から
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①300 ②3 ③20 〕 〔導入後：①120 ②2 ③12 〕</p> <p>・情報管理及びシフト表作成（調整）、給与管理等が連携しているので作業効率が良く、管理業務が短縮できる。また、請求金額も連携しているため、時短に貢献している。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>ケアプランの連携、情報共有が出来るため紙の削減は出来ているが、ソフト利用者が高齢化しているため削減量に限界がある。 「導入前100枚→導入後60枚（1ヶ月平均4割削減）」</p>	
事業着手日	2022年 6月 22日	
事業完了日	2022年 12月 27日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

R5年3月15日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	ワイズマンIDCすごろくケアマネ5台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
「LIFE」の利用申請の有無		有 <input checked="" type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	R4年 12月
	リース・レンタル契約期間	R4年 12月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 180 ② 180 ③ 160 〕</p> <p>〔導入後：① 150 ② 120 ③ 120 〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>【文章量削減】※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数→導入前と導入後の枚数は同数です。</p> <p>・モニタリング訪問中や訪問時間調整の為に隙間時間に入力できる為、効率が良く支援経過入力が残業しないので済む。・受診同行時の待ち時間で情報を入力し作業時間の短縮になっている。帰宅後等に必要な情報を確認入力できる。・訪問時に予定を確認して提供票を直せるので忘れずに行える。また大きな画面で写真や動画が確認でき家族や事業者と情報共有しやすい。私物のスマホを使用しなくなった。・外出時、情報が得られやすくなファイル持ち出さなくて済む。</p>	
事業着手日	R4年 12月 15日	
事業完了日	R5年 3月 15日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月 31日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	福祉の森 タブレット3接続 iPad64GB 3台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有
「L I F E」の利用申請の有無		有
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年3月24日
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①180 ②2 ③2 〕 〔導入後：①60 ②2 ③2 〕</p> <p>※記録の電子化により、複数記録の削減、転記作業の削減ができ、効率が格段に上がる。また情報共有もしっかり行え、伝え忘れ等を防止できる。 効率が上がったことで利用者の向き合える時間の確保、残業時間の削減が今後はできると考えられる。</p> <p>【文章量削減】</p>	
事業着手日	令和4年 11月 29日	
事業完了日	令和5年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	福祉の森 タブレット6接続 iPad64GB 6台 福祉の森FUTURE クライアントアクセスライセンス3	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有
「LIFE」の利用申請の有無		有
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年3月24日
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120 ② 14 ③ 2 〕 〔導入後：① 40 ② 14 ③ 2 〕</p> <p>※タブレット導入に伴い、記録の一元化が行え、部署間での情報共有化が行える。日々の記録物（日誌等）のデジタル管理の他、外傷等の映像記録も個人情報として紐付けして管理が行えることが大きなメリットの一つとして挙げられる。バイタル記録も端末に直接取り組むことができ、グラフとして視覚化できることに作業効率の大きな改善が期待される。</p> <p>【文章量削減】 「各種記録表、導入前5枚→導入後1枚（1ヶ月平均8割削減）」</p>	
事業着手日	令和4年 11月 29日	
事業完了日	令和5年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月31日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	福祉の森 タブレット6接続 iPad64GB 6台 福祉の森FUTURE クライアントアクセスライセンス2	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有
「LIFE」の利用申請の有無		有
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年3月24日
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120 ② 7 ③ 2 〕 〔導入後：① 40 ② 7 ③ 2 〕</p> <p>※タブレット導入に伴い、記録の一元化が行え、部署間での情報共有化が行える。日々の記録物（日誌等）のデジタル管理の他、外傷等の映像記録も個人情報として紐付けして管理が行えることが大きなメリットの一つとして挙げられる。バイタル記録も端末に直接取り組むことができ、グラフとして視覚化できることに作業効率の大きな改善が期待される。</p> <p>【文章量削減】</p>	
事業着手日	令和4年 11月 29日	
事業完了日	令和5年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月17日

事業所種別	特別養護老人ホーム	
導入する機器等	(ソフトウェア) ほのぼのNEXT ケアパレット (ハードウェア) Apple ipad	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務(事務所内外の情報連携を含む。)、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「LIFE」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言(一つ星又は二つ星)をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果(導入による業務改善状況等)】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数(分/日) ② 作業人数(人/日) ③ 作業日数(ひと月あたり)</p> <p>[導入前:① 150 ② 4 ③ 30]</p> <p>[導入後:① 60 ② 9 ③ 30]</p> <p>介護記録作成の時間短縮など、効率化を図ることができ、職員の業務負担が軽減する。また、各部署において職員間の情報の把握・共有がリアルタイムとなり、利用者支援への質の向上に繋がる。そして、新しいことを導入したことで、モチベーションアップに繋がり、コミュニケーションの再構築が行えている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>「会議録、導入前60枚→導入後10枚(1ヶ月平均1.7割削減)」</p> <p>「入浴バイタル表、導入前16枚→導入後0枚(1ヶ月平均0割削減)」</p> <p>「送り表、導入前60枚→導入後0枚(1ヶ月平均0割削減)」</p> <p>「介護チェック表、導入前30枚→導入後0枚(1ヶ月平均0割削減)」</p> <p>「介護日誌、導入前240枚→導入後0枚(1ヶ月平均0割削減)」</p> <p>「夜勤日誌、導入前240枚→導入後0枚(1ヶ月平均0割削減)」</p>	
事業着手日	令和5年1月16日	
事業完了日	令和5年3月2日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月1日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	介護請求記録システム ケア樹 Apple社製 iPad	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022年12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 記録・LIFE登録での1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日）③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 60 ② 2 ③ 25 〕 〔導入後：① 20 ② 1 ③ 25 〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・記録ではiPadで記録を登録する事で一元管理する事が出来ている。また記録は連絡帳とも連動しているため転記等の負担が減った。 ・LIFEはシステムに登録する事で簡易にCSV出力出来、負担が減った。 ・提供票連動システム ケアぼすを利用する事で少しづつであるが紙での提供票のやりとりが少なくなってきた。 ・記録と請求が連動していることにより、請求業務の負担が大幅に減った。</p> <p>【文章量削減】 文書名：連絡帳控え 導入前 250枚/月 →導入後 0枚/月</p>	
事業着手日	2022年12月10日	
事業完了日	2023年3月1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 05年 03月 03日

事業所種別	その他（ 居宅介護支援 ）	
導入する機器等	・IDC_すぐろくケアマネ 4台 ・医療・介護連携サービスMell+ 1台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 05年 01月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 180 ② 4 ③ 22 〕</p> <p>〔導入後：① 80 ② 4 ③ 22 〕</p> <p>※支援経過、モニタリングをその都度記入できるようになり、記載忘れや聞き取った利用者の状況等の記載忘れを防げるようになった。その場で、サービスの変更や追加ができ、予定の単位数の掲示ができるようになり、サービス利用料が利用者も把握しやすくなった。また電子化によりかなりのペーパーレス化ができ、書類の整理整頓がしやすくなり精神的な負担の軽減に加え、しまう場所にも余裕ができた。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <p>・サービス利用票：導入前約540枚→導入後約270枚（1ヶ月平均5割削減）</p> <p>・基本情報・アセスメント一式・計画書1～5、モニタリング：導入前約382枚→導入後約42枚（1か月平均8.9割削減）</p>	
事業着手日	令和 05年 02月 01日	
事業完了日	令和 05年 03月 02日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

I C T使用状況報告書

令和 05年 03月 03日

事業所種別	老人居宅介護等事業（訪問介護等）	
導入する機器等	・ IDC_すぐろくHome 1台 ・ 医療・介護連携サービスMell+ 1台	
I C Tの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	②・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	③・無
「L I F E」の利用申請の有無		④・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		⑤・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 05年 01月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
I C T導入による効果等	<p>【I C Tの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 85 ② 10 ③ 25 〕 〔導入後：① 50 ② 10 ③ 25 〕</p> <p>※手書きであった申し送りのメモ等が、ソフト上で共有できるようになり、またルール化することにより記入にかかる時間を減らすことができた。紛失も予防でき精神的な不安の軽減に繋がった。また、ケアや処置の統一化の連携ができ、個人差が減った。その場で記録を行うことができ、事務所に戻ってからの書類への記入の時間短縮ができ、残業時間が減った。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護計画書、導入前558枚→導入後186枚 ・ 訪問看護報告書、導入前372枚→導入後186枚（1ヶ月平均6割削減） 	
事業着手日	令和 05年 02月 01日	
事業完了日	令和 05年 03月 02日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年3月10日

事業所種別		
導入する機器等	ワイズマン すぐろくHome (1事業所) iPad2台 (Wi-Fiモデル) iPad2台 (Wi-Fi+Cellular)	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	①・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	①・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	①・無
「LIFE」の利用申請の有無		有・①
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		①・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 90 ② 3 ③ 30 〕 〔導入後：① 45 ② 3 ③ 30 〕</p> <p>※タブレットの記録システムの導入により、場所に影響されないリアルタイム記録が実現できた。また、指示書等必要な情報を職員間で共有でき、申送りや引継ぎ書への記入の手間が省け記録業務にとられる時間が減り業務効率と利用者様へのサービスの向上が図れている。タブレットと請求のシステムが連動していることにより、請求業務にかかる時間も短縮できている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数） 「文書名：サービス実施記録 導入前1650枚→導入後500枚1ヶ月平均3割削減」を記載ください。 ※現在移行中なので、最終的には0枚の予定です。</p>	
事業着手日	令和5年1月26日	
事業完了日	令和5年3月24日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2022年 1月5日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼのNEXT ・Ipad ・wifi工事 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022年 11月～12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：① 100② 16③ 30] [導入後：① 60② 16③ 30]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット使用でご利用者様毎の情報共有スピードが向上 ・ほのぼのをタブレットに導入することで作業効率化を図る ・wifi環境を改善することで入力作業の効率化を図ると共に、職員の職場満足度にも繋がっている <p>【文章量削減】 「各部署日誌、導入前120枚→導入後30枚(1ヶ月平均2.5割削減)」</p>	
事業着手日	2022 年 11 月 30 日	
事業完了日	2022 年 12 月 20 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月22日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・BlueOceanNote II（通所介護） ・SURFACE PRO7+ 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「LIFE」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和5年1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：① 60 ② 1 ③ 25] [導入後：① 30 ② 1 ③ 25]</p> <p>今まではPC1台だったので作業停滞していたが、導入後は待ち時間も解消され、またいつでも誰でもPC上で確認できるようになったことにより、紙の保管が減り文書量の削減をすることができた。</p> <p>【文章量削減】 ※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数 「『業務日誌』、導入前25枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減）」</p>	
事業着手日	2022年12月2日	
事業完了日	2023年3月8日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 2月 17日

事業所種別	老人デイサービス事業（通所介護等）	
導入する機器等	ケアパピルス基本システム1台 iPad4台 バッファロー無線LAN親機1台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022年 12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 100 ② 3 ③ 25 〕 〔導入後：① 60 ② 1 ③ 25 〕</p> <p>ソフト導入により、日常記録の機械化を行う。バイタル入力や食事の記録入力等、紙だった際に複数の人の手が入っていた物をソフトにまとめて記入し、効率化を図った。その分、ケアに対応出来る時間数が増加した。また、業務日報も記録から内容を持って来る事により、二重記載不要及び機械化可能となった。</p> <p>【文章量削減】 「バイタル表、導入前 25枚→導入後 5枚（1ヶ月平均8割削減）」 「業務日報、導入前 25枚→導入後 0枚（1ヶ月平均10割削減）」</p>	
事業着手日	2022年 12月 23日	
事業完了日	2023年 2月 16日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 5 年 4 月 5 日

事業所種別	介護老人保健施設（短期入所）	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフト：NDソフトウェア ほのぼのNEXT（老健全体） ・タブレット端末：アップルジャパン iPad 13台（老健全体） ・WiFi：バッファロー 無線アクセスポイント 12台（老健全体） 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「L I F E」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 40 ② 2 ③ 30 〕 〔導入後：① 20 ② 1.5 ③ 30 〕</p> <p>※記録の電子化により、これまでの紙カルテへの手書きでの記入時間が短縮され、業務日誌や申し送り簿などの重複した記録物も介護ソフトの中で完結できるため、記録の手間、負担が大幅に軽減した。入所時から他職種の情報も共有でき、職種間の連絡/調整等に要する時間の効率化が図れている。請求業務に係る転記や確認作業の負担軽減も図れている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書名：看護介護記録、導入前 7枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減） ・文書名：経過記録、導入前 7枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減） 	
事業着手日	令和 4 年 12 月 1 日	
事業完了日	令和 5 年 3 月 29 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 5 年 4 月 5 日

事業所種別	介護老人保健施設（老健入所）	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフト：NDソフトウェア ほのぼのNEXT（老健全体） ・タブレット端末：アップルジャパン iPad 13台（老健全体） ・WiFi：バッファロー 無線アクセスポイント 12台（老健全体） 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	有・無
「LIFE」の利用申請の有無		有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 40 ② 6 ③ 26 〕 〔導入後：① 20 ② 4 ③ 26 〕</p> <p>※記録の電子化により、これまでの紙カルテへの手書きでの記入時間が短縮され、業務日誌や申し送り簿などの重複した記録物も介護ソフトの中で完結できるため、記録の手間、負担が大幅に軽減した。バイタルチェックや請求業務に係る転記や確認作業の負担軽減も図れている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書名：看護介護記録、導入前80枚→導入後 0枚（1ヶ月平均10割削減） ・文書名：バイタル表、導入前52枚→導入後26枚（1ヶ月平均 5割削減） 	
事業着手日	令和 4 年 12 月 1 日	
事業完了日	令和 5 年 3 月 29 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 5 年 4 月 5 日

事業所種別	介護老人保健施設 (通所リハ)	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフト：NDソフトウェア ほのぼのNEXT (老健全体) ・タブレット端末：アップルジャパン iPad 13台 (老健全体) ・WiFi：バッファロー 無線アクセスポイント 12台 (老健全体) 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 40 ② 10 ③ 30 〕 〔導入後：① 20 ② 8 ③ 30 〕</p> <p>※記録の電子化により、これまでの紙カルテへの手書きでの記入時間が短縮され、業務日誌や申し送り簿などの重複した記録物も介護ソフトの中で完結できるため、記録の手間、負担が大幅に軽減した。入所時から他職種の情報も共有でき、職種間の連絡/調整等に要する時間の効率化が図れている。請求業務に係る転記や確認作業の負担軽減も図れている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書名：看護介護記録、導入前285枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減） ・文書名：経過記録、導入前 95枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減） 	
事業着手日	令和 4 年 12 月 1 日	
事業完了日	令和 5 年 3 月 29 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和 5 年 4 月 5 日

事業所種別	介護老人保健施設（訪問リハ）	
導入する機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ソフト：NDソフトウェア ほのぼのNEXT（老健全体） ・タブレット端末：アップルジャパン iPad 13台（老健全体） ・WiFi：バッファロー 無線アクセスポイント 12台（老健全体） 	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和 4 年 12 月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 20 ② 1 ③ 12 〕 〔導入後：① 10 ② 0.8 ③ 12 〕見込み</p> <p>※記録の電子化により、これまでの紙カルテへの手書きでの記入時間が短縮され業務報告などの重複した記録物も介護ソフトの中で完結できるため、記録の手間、負担の大幅な軽減が見込まれる。訪問先または事業所でも場所を問わず記録でき音声入力機能を活用すれば勤務時間内で業務終了が見込まれる。請求業務に係る転記や確認作業の負担軽減も図れる。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数）</p> <p>・文書名：リハビリ記録、導入前12枚→導入後0枚（1ヶ月平均10割削減）</p>	
事業着手日	令和 4 年 12 月 1 日	
事業完了日	令和 5 年 3 月 29 日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 4月 5日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	ほのぼのNEXT ipad8台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年 11月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 120② 3③ 30 〕 〔導入後：① 45② 5③ 30 〕</p> <p>・今までは、リーダーが中心となり記録していたが、タブレットを複数台導入する事により業務を行った職員が都度記録を入力する事が出来、また定型文を使用する事により、業務の効率化、平準化を図ることが出来るようになった。</p> <p>・紙媒体の際は、各所に配置されている個人記録を確認しに行く手間が有ったが、ソフト導入により現地に行かなくても入居者の記録を確認出来るようになった。</p> <p>・業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・記録を電子化する事によって、同様の記録を複数つけるといった手間が省け、効率が格段にあがった。</p> <p>【文章量削減】 「各課日誌・排泄記録表・看護・介護記録、導入前820枚→導入後80枚（1ヶ月平均9割削減）」</p>	
事業着手日	2022年 11月 1日	
事業完了日	2023年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 4月 5日

事業所種別	特定施設（介護付き有料老人ホーム）	
導入する機器等	ほのぼのNEXT	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有・無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適・否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有・無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	令和4年 11月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 240② 1③ 30 〕 〔導入後：① 180② 1③ 30 〕</p> <p>・介護記録ソフト導入により、ソフト内でデータが連携される為、基本情報等複数の場所に同様の記録を入力する手間が省け、業務効率が上がった。 ・介護記録ソフト内に情報が集約されることにより、記録の確認・検索の時間が短縮され、業務時間が短縮され効率が上がった。</p> <p>【文章量削減】 他事業所との連携に必要な為、変化なし。</p>	
事業着手日	2022年 11月 1日	
事業完了日	2023年 3月 31日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

令和5年 3月1日

事業所種別	小規模多機能型居宅介護事業所	
導入する機器等	介護請求記録システム ケア樹	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 <input type="radio"/> 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2022年 12月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 記録・LIFE登録での1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① 90 ② 5 ③ 30 〕 〔導入後：① 30 ② 3 ③ 30 〕</p> <p>※業務時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※見込まれる削減割合（1事業所あたりの1ヶ月平均で削減できたおおよそ紙の枚数） 「経過観察記録表、導入前10枚→導入後3枚（1ヶ月平均3割削減）」</p>	
事業着手日	2022年 12月 10日	
事業完了日	2023年 3月 1日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。

ICT使用状況報告書

2023年 3月 17日

事業所種別	介護老人保健施設	
導入する機器等	ソフトウェア (ほのぼの NEXT Care Palette Voice fun) ipad(10.2インチ wifi64GB)5台	
ICTの機能等	記録業務、情報共有業務（事務所内外の情報連携を含む。）、請求業務を一気通貫で行う機能の有無 ※	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	「居宅介護事業所と訪問介護などのサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」に準じた仕様の適否	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 否
	タブレット端末等による音声入力機能の活用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
「L I F E」の利用申請の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
SECURITY ACTIONの自己宣言（一つ星又は二つ星）をしている		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
購入又はリース・レンタルの別	購入時期	2023年 1月
	リース・レンタル契約期間	年 月から 年 月まで
ICT導入による効果等	<p>【ICTの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>[導入前：① 120 ② 5 ③ 30] [導入後：① 90 ② 3 ③ 30]</p> <p>※導入にあたり複数箇所記入していく必要がなくなり、記入漏れも減り作業効率が改善された。また、従業員の作業時間や残業も減り利用者様へのサービス向上に繋がっている。</p> <p>【文章量削減】</p> <p>※カルテ、導入前(20枚)→導入後(10枚)1ヶ月平均1割減少</p>	
事業着手日	2023年 11月 30日	
事業完了日	2023年 3月 23日	

※導入済みの介護ソフトによって一気通貫になっている場合は「有」を囲むこと。